

## 第6回チャレンジいばらきまちづくり表彰 受賞者の決定について

【目的・効果】まちづくり・景観等に対する県民の意識の高揚と、まちづくり活動の促進のため、モデルとなるような団体・取り組みを表彰する。

【応募・選考方法】市町村長等から提出された推薦調書により審査委員会が活動の内容を審査し、その内申に基づき、土木部長が受賞者を決定する。

### <チャレンジいばらきまちづくり大賞（知事表彰）>

最もチャレンジ精神に富み、かつ優秀な成果を上げた者

受賞団体：合同会社 iriai Tempo

事業名：「iriiai Tempo」-空き家を活用した「持続可能な地域」の拠点づくり-

つくば市の周辺市街地（合併前の旧町村の中心地域）である北条は、筑波山麓の農産物の集積地や加工販売の中心地として発展し、現在でも竹工芸や藍染、はんでんを作る若手作家が活躍しているが、少子高齢化に伴う地域コミュニティの弱体化により、流通や広告などの情報発信が難しくなったことで、周辺地域の住民でさえ見たり購入したりする機会が減っていた。

そこで、地域住民を中心とする団体が、築100年ほどの古民家を借り受けて改修し、無料で利用できる「たまり場」、地域物産品や生活工芸品を扱う「商店」及びイベントやワークショップの会場となる「レンタルスペース」を併設した「iriiai Tempo」を2021年3月に開設した。

地域住民や観光客との交流の場として活用され、地域活性化に貢献している。



レンタルスペース



たまり場



商店

iriiai Tempo正面入り口を入るとたまり場。たまり場の左斜め奥が地域物産品や生活工芸品を扱う商店で、右斜め奥がイベントやワークショップ会場として利用できるレンタルスペース

### <優秀賞（土木部長表彰）>

〔まちづくり活動部門〕

まちづくり活動により地域の魅力を高めた者

受賞団体：関東レールファンCLUB

事業名：関東鉄道常総線及び竜ヶ崎線における公共交通の利用促進イベントの開催

関東鉄道常総線及び竜ヶ崎線は利用者の減少により、一部区間を除いて赤字額も増加傾向にあった中、関東鉄道常総線・竜ヶ崎線の活性化及び沿線のにぎわい創出、そして鉄道利用の促進を目標に、2002年4月「関東レールファンCLUB」を設立した。

ファンCLUBは、マスコットレディー「関東レール★メイト」の活動や、地元商店と協力した飲料、コロッケ、パン、どら焼き、焼きそばなど多岐にわたる「竜鉄ブランドメニュー」の選定、毎月実施する「とばのえステーションギャラリー」など、沿線自治体や商店等との連携による様々なイベントを展開することで、鉄道の利用促進と賑わいづくりに貢献している。



関東鉄道竜ヶ崎線



竜ヶ崎線の車内つり革には竜鉄コロッケを模した食品サンプルが取付けられている（関東レールファンCLUB発案）



竜ヶ崎市地域公共交通活性化協議会と共同選定した竜鉄ブランドメニュー